

報告事項 1 令和4年度重点方策及び重点事業報告

本会では、これまでから、地域包括ケアシステム構築の目途とされる2025年を目前に控え、「地域包括ケアにおける看護提供体制の構築・推進」を中心に重点方策を定めて取り組みを推進し、「看護人材確保」「病院と在宅のシームレスな看護の提供」「より複雑多様化する医療・看護・介護に対応できる看護職の育成」を進めてきた。

令和4年度においては、2040年の社会を見据えて、看護に関わる社会の変化を概観し、看護職を取り巻く問題点、本会の取り組みの現状と課題を踏まえて、本会のこれからの事業展開の指標とするためにとりまとめた「兵庫県看護協会活動のあり方ー2040年を展望してー」において、当面5か年に本会が取り組むこととして定めた6つの項目をもとに、下記の重点方策を掲げて取り組んだ。

また、引き続きコロナ禍において、各会員施設等における課題への対応のほか、感染症対応の人材確保に向けた事業など、新たな幅広い取り組みを進めた。

兵庫県看護協会活動のあり方 ー2040年を展望してー 【当面5か年の取り組み】	【令和4年度重点方策】
1 看護職の人材確保と定着促進	1 看護職の人材確保と定着促進
2 看護職の能力拡大	2 キャリア開発支援
3 県民への健康づくり・地域づくりの支援	3 全世代型地域包括ケアシステムを支える看護機能の強化
4 多職種・異分野との連携の推進	4 勤務環境改善の推進
5 災害・健康危機支援体制の強化	5 災害・健康危機支援体制の強化
6 組織力(団体としての力)の強化	6 職能団体の組織力強化

【令和4年度重点方策・事業報告】

1 看護職の人材確保と定着促進

看護職員需給推計では2025年の地域医療構想の実現に向けた、必要看護職数から約4,000人が不足、特に在宅分野で2,800人不足するとされ、これまでの事業だけでは社会的変化への対応が難しいことから、新たな切り口で看護職確保事業に取り組んだ。

具体的には、次代の看護を担う人材確保に向け、若者層向けに看護の魅力を発信し、看護への関心が得られるよう看護の日のイベントや、出前授業、進学説明会等を実施した。新たな看護職確保事業を企画するために、学生や若者層の会員、看護管理者の意見を事業に反映させた。

地域や介護施設等あらゆる場で働く看護職が、生涯を通じて継続的に学習し、つながることで地域の看護職強化を図り、誰もが専門職として自信と誇りをもって働き続けられるよう支援した。

また、定着促進については、看護領域・地域偏在の是正に向けた看護職確保に係る課題の整理を行った。看護職として成長するための看護教育や労働環境改善のほか、プラチナ世代になってからのセカンドキャリア支援、40歳代以降のキャリア支援の重要性について普及推進するとともに、看護職業業務改善の取り組みを共有した。

(1) あらゆる場で働く看護職の人材確保

- ①復職支援研修等ナースセンター事業の充実強化
- ②潜在看護職対象「コロナ対応力スキルアップ研修」の実施
- ③新型コロナウイルス感染症対応看護職員等人材確保の実施
- ④中小病院、診療所、高齢者介護施設、訪問看護ステーション等求人施設機能別就職説明会の実施
- ⑤「看護職確保推進事業」参画準備

(2) 地域で働く看護職の定着促進

- ①訪問看護総合支援センターにおいて「訪問看護ステーション実態調査」
- ②「新卒看護職支援」「管理者研修」「訪問看護導入研修」等の実施
- ③訪問看護師等の安全確保・離職防止対策として、弁護士による暴力対応相談の実施
- ④40歳代からのキャリア支援、プラチナナース活躍推進

2 キャリア開発支援

生活と、保健・医療・福祉をつなぐ質の高い看護ができる看護職を育成するために、臨床実践能力の段階別到達目標を基に構築されたJNAラダーを踏まえ、看護職の多様なキャリア開発を支援するとともに、「COVID-19関連研修」、「看護管理者研修」等現場のニーズを反映して教育計画を立案し実施した。

また、あらゆる場で活動する看護職の実践力向上、自律的な行動を支援するための教育研修の充実強化を図った。

さらに、社会の動向を見据え、地域包括ケアシステムをさらに推進できる「先見性を持つ力」や「地域社会の中でリーダーシップを発揮する力」を養い、創造的に柔軟に変革できる看護管理者を育成した。看護師職能I委員会では、地域包括ケアの充実に向けた連携・協働を推進するために病院の看護管理者の訪問看護研修を、兵庫県看護協会訪問看護総合支援センター（以下「支援センター」）の看看連携研修を活用実施した。看看連携研修は、病院、訪問看護事業所及び介護関連施設等の看護職が相互に各々の役割や専門性を理解し、連携できる関係を構築すること及び地域包括ケアシステムの推進や地域での看護職のキャリアアップや人材確保を図るため、各施設の管理職の連携強化を目指すことを目的とした事業であり、病院看護管理者が参加

することは極めて重要である。

(1) 複雑化する保健・医療・福祉に対応できる看護職の育成

- ①看護職の生涯にわたる学習を支援し、専門職としての自覚と誇りを持てる研修の企画実施
特に新人からジェネラリストまで看護倫理について考える研修の企画実施
- ②看護実践から看護研究につながる研修企画と、看護実践研究会への参加支援
- ③病院、在宅を問わず患者が住み慣れた場所で生活できるよう支援できる研修の企画実施
- ④高齢者施設に勤務する看護職の質向上を目指した研修の企画実施
- ⑤認定看護師、専門看護師の活用による看護実践能力の向上を目指す研修の企画実施

(2) 看護管理者が地域包括ケアシステムを推進するための力量形成への支援

- ①看護管理者活動推進委員会を新たに立ち上げ、組織的課題解決のための支援、看護管理実践能力向上の検討、交流会の開催
- ②施設代表者会他看護管理者を対象とした研修会の開催
- ③認定看護管理者教育課程等の研修講師、支援者の依頼
- ④他領域の看護を理解するための看看連携研修

3 全世代型地域包括ケアシステムを支える看護機能の強化

住み慣れた地域で安心して最期まで自分らしく暮らし続けられるよう、全世代型地域包括ケアシステムの構築、切れ目ないケア提供体制を構築するため、看護がキーパーソンとなって健康づくり、地域づくりを進めた。

また、県民が生涯にわたる健康づくりや健康課題に対応できるよう、まちの保健室、ホームページ等で県民向けに情報を発信し支援した。

さらに、高齢者・妊産婦・乳幼児など全世代を対象とした在宅療養支援に向けた退院支援、外来看護の強化、多職種連携を進めていくため、看護管理者間のネットワークの強化や、行政、多職種と連携して推進した。

(1) まちの保健室（拡充）

- ①コロナ禍で中断していたまちの保健室の再開
- ②オンラインを活用したまちの保健室等

(2) 健康寿命の延伸に向けた支援（新）

- ①ホームページで県民向けの健康情報を掲載（コロナ、フレイル、認知症等）
- ②いきいき健康サポート事業の実施

(3) 看護職間の連携や多職種との協働推進 地域ネットワークの充実

- ①三職能合同で職能集会を開催。コロナ禍の看護職の心のケアをテーマにした講演会を開催
- ②訪問看護師ステーション連絡協議会と訪問看護総合支援センターとの合同の委員会
- ③医療職団体連絡協議会で研修会の開催

(4) 保健師職能、助産師職能と連携した母子のための地域包括ケアシステムの推進

- ① JNA 主催の母子のための地域包括ケアシステム推進会議に保健師職能委員長と助産師職能委員長と共に参加。課題を共有した。

- ②兵庫県での事業の取り組みのために、両委員会合同で話し合いの機会を持ち、効果的な研修会の実施を検討

4 勤務環境改善の推進

労働力人口の減少や医療・介護提供体制の改革により、看護を取り巻く環境が変わる中、看護職がより専門性を発揮できる働き方の推進や生産性の向上、看護サービスの質の向上を図るため、看護業務の効率化が求められる。

このため、看護職の働き方改革、看護の専門性の発揮等、生涯にわたり安全に安心して働き続けることができるよう、ワーク・ライフ・バランスの支援継続、ヘルシーワークプレイス（安全で健康な職場）の推進、看護補助者・多職種等との協働の推進など、タスク・シフト/シェアを含む看護業務の効率化に向けた取り組みを推進した。

（1）業務効率化の推進

- ①看護補助者の活用推進のための看護管理者研修の実施
- ②施設代表者会において「タスク・シフト/シェア」をテーマにした研修会の実施
- ③日本看護協会「タスク・シフト/シェアに関するガイドライン」の周知

（2）働き続けられる職場環境づくり

- ①兵庫県医療勤務環境改善支援センター、ひょうご仕事と生活センターとの協働による勤務環境改善取り組み施設支援
- ②ヘルシーワークプレイス推進のための課題策検討
- ③日本看護協会「看護業務の効率化先進事例アワード」の周知

5 災害・健康危機支援体制の強化

大規模自然災害発生に備えて医療・看護の支援体制の強化を図るため、平時から災害支援ナースの養成、地域での防災訓練参加、研修、マニュアル作成等、関係団体や自治体と連携して災害時の対応力向上の支援に取り組んだ。

また、新型コロナウイルス感染症対応では、自宅療養者の健康観察や、社会福祉施設等への感染管理認定看護師の派遣支援、研修、マニュアル作成のほか、新たに、感染症対応看護職員等人材調整事業（広域派遣・県内派遣）の推進や、災害・新興感染症発生時支援協力のための県との協定書の締結など、災害や健康危機発生時の体制整備に努めた。

さらに、本会施設が大規模自然災害等の危機に見舞われた際に、事業の継続が図れるよう本会内のBCPマニュアルを策定し、平時からの災害対応への基盤整備に取り組んだ。

（1）災害に備えた支援・受援体制の整備

- ①災害、新興感染症発生時支援協力のための県との協定書の締結
- ②感染症対応看護職員等人材調整事業（広域派遣・県内派遣）の推進
- ③災害支援ナース養成研修、看護管理者の受援体制強化研修等各種研修の実施

（2）平時からの関係構築

- ①本会のBCP作成
- ②高齢者施設等のBCP作成支援
- ③地域防災訓練等への参加

(3) 新型コロナウイルス感染症対策の強化

- ① 自宅療養者健康観察事業、宿泊療養施設への看護職派遣
- ② 社会福祉施設等の感染者発生時における初動体制構築のための感染管理認定看護師等の派遣
- ③ 高齢者施設感染対策支援のためのリソースナース講師派遣

6 職能団体としての組織力強化

会員の確保に向け、会員のニーズに合わせた会員サービスの充実・強化とともに、ホームページ等の充実、若年層への浸透を図るための広報活動の充実を図った。

加入者の少ない病院、施設に対して入会促進活動を強化したほか、看護学生に対する協会活動のPR等会員拡大に向けた取り組みを強化した。

また、県民向けリソースナースネットワークによる講師派遣など県民の健康と安全を守るための事業の一層の充実と、県民にもわかりやすく有用なホームページの充実を図り、県民向けの情報発信を強化した。

効率的・効果的な運営体制の確保とともに、教育研修関係事業、訪問看護ステーション事業等主要な事業の積極的な展開の一方で、多様な収入の確保・拡大と費用の抑制に努め、健全経営の維持を図った。

(1) 会員の確保・拡大

- ① 事務局にプロジェクトチームを設置、各種データや各施設の管理者等からの意見を踏まえた取組みの実施
- ② 会員施設や会員のニーズを踏まえた新たな研修等の実施
- ③ 会員特典の拡大等会員サービスの充実
- ④ 看護協会活動紹介動画を作成し、ホームページ上にアップ
- ⑤ 会員ゼロ施設、社会福祉施設等への入会促進

(2) 認知度の向上

- ① 県民向け情報誌「ささえ」、ホームページ等、情報発信の充実
- ② 県民向けリソースナースネットワークによる講師派遣

(3) 支部の活動・体制の強化

- ① メールインフォ（メール配信システム）による情報配信を開始。支部での活用促進
- ② 支部のPC、WiFi等の体制の充実
- ③ 地域別看護ネットワーク推進事業

(4) 経営基盤の安定化

- ① 事業の積極的な展開に向けた施設・環境の整備
- ② コロナ禍の状況を踏まえた将来収支の検討
- ③ 資金運用体制の整備

令和4年度事業報告

事業計画は、定款第4条に規定する次の9つの事業に沿って掲載した。

1. 看護教育及び学会等学術振興に関する事業
2. 看護に係る調査及び研究並びに看護業務及び看護制度の改善への提言に関する事業
3. 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業
4. 地域ケアサービスの実施及び促進に関する事業
5. 災害、健康危機支援に関する事業
6. 看護の国際交流に関する事業
7. 看護の普及啓発に関する事業
8. 施設の貸与に関する事業
9. その他本会の目的を達成するために必要な事業

事業内容の**重**太文字は重点事業、**新**下線は新規事業

1. 看護教育及び学会等学術振興に関する事業〈重点1〉

定款第4条第1項第1号

看護基礎教育や継続教育、資格認定教育等を通して看護の質向上や人材育成を推進するとともに、看護研究や学会等学術の振興を図る。

事業内容	実施状況
1) 資格認定教育に関する事業〈重点2〉 (1) 認定看護管理者教育課程 ①ファーストレベル3回/年(定員60名/回) ②セカンドレベル1回/年(定員60名/回) ③サードレベル 1回/年(定員30名/回) ④フォローアップ研修 ・ファーストレベルフォローアップ4回/年	9 研修 延べ日数120日 受講者 399名 ・ファーストレベルⅠ期 受講者51名 令和4年5月11日～6月3日 105時間 18日間 ・ファーストレベルⅡ期(木・金・土) 受講者42名 令和4年6月23日～7月29日 105時間 18日間 ・ファーストレベルⅢ期 受講者65名 令和5年1月11日～2月3日105時間 18日間 ・セカンドレベル 受講者60名 令和4年10月26日～12月9日 180時間 31日間 ・サードレベル 受講者19名 令和4年8月23日～10月6日 180時間 31日間 ・ファーストレベルⅠ期フォローアップ研修 令和4年12月16日 受講者41名 ・ファーストレベルⅡ期フォローアップ研修 令和5年2月10日 受講者33名 ・令和3年度ファーストレベルⅢ期フォローアップ研修 令和4年6月10日 受講者47名 ・令和3年度ファーストレベルⅣ期フォローアップ研修 令和4年8月5日 受講者41名

⑤看護管理実践発表会 (2) 認知症看護認定看護師教育課程 (B 課程) (3) 資格認定に関する研修	・看護管理実践発表会 (第4回) 令和5年2月25日 参加者133名 オンライン併用 発表演題51題 セカンドレベル43題 認定看護管理者8題 教育講演: 講師 国立国際医療研究センター病院 看護部長 佐藤朋子 氏 「心理的安全性を高める組織づくり」 令和4年4月12日～令和5年3月10日 修了者20名 延べ806時間 延べ日数3日 延べ受講者 142名 → 認知症看護認定看護師フォローアップ研修 中止 ・認定看護師フォローアップ研修 令和5年1月17日 受講者30名 → CNS/CN/認定看護管理者実践報告会 中止 ・特定行為研修修了者実践報告会 令和5年3月4日 参加者44名 ・認知症看護認定看護師教育課程 (B 課程) 入講説明会 令和4年8月27日 参加者68名
2) 継続教育に関する事業 〈重点2〉 (1) 看護師・准看護師を対象とした継続教育 ①新人看護職員集合研修 4研修 ②ジェネラリスト研修 83研修	82研修 延べ日数115日 延べ受講者4,586名 ・新人看護職員集合研修 4研修 令和4年6月27日 受講者79名 令和4年8月3日 受講者68名 令和4年10月24日 受講者72名 令和4年11月29日 受講者65名 ・<u>新</u>これだけは知っておきたい感染症の基礎知識と予防対策 令和4年9月12日 受講者38名 ・感染対策エキスパートナース養成研修 ベーシックコースⅠ 令和4年9月26日、 10月3日、令和5年1月10日 受講者78名 ベーシックコースⅡ 令和4年8月10日・23日 受講者35名 <u>新</u>アドバンスコース 令和4年10月17日、11月 18日、令和5年1月19日 受講者18名 ・<u>新</u>呼吸器疾患をアセスメントするために知っておきたい知識 令和4年9月20日 受講者38名 ・<u>新</u>コロナ禍における糖尿病の療養支援を考える 令和4年9月5日 受講者23名 ・<u>新</u>高齢者の暮らしを支えるケア 検査所見の見方・捉え方 令和4年6月24日 受講者46名 薬物療法と療養支援 令和4年8月31日 受講者61名 ・<u>新</u>人生最終段階の意思決定 part2ーコミュニケーションスキル向上のためにー 令和4年9月14日 受講者72名

③教員・実習指導者を対象とした研修 ④診療報酬に関連した研修 ⑤准看護師を対象とした研修 ⑥復職支援・離職防止のための研修(重点3) ・施設代表者会 講演会	・<u>新「私らしく」を支える看取り</u> 令和5年1月12日 受講者65名 ・<u>新治療を受けながらがんとともに生きる人を支える看護師の役割</u> 令和4年11月15日 受講者37名 ・<u>新専門看護師の实践から学ぶ！看護場面で遭遇する倫理的ジレンマへの対応</u> 令和4年10月4日 受講者59名 ・<u>新よくわかる看護研究の実際ーレッツ!!研究計画書の作成ー</u> 令和4年9月3日・17日 受講者20名 ・専任教員養成講習会 令和4年5月～11月 受講者18名 ・<u>新実習指導者講習会フォローアップ研修 実践能力を高める実習指導の方法</u> 令和4年9月2日 受講者15名 ・<u>新小児在宅移行支援指導者育成研修</u> 令和5年1月30日・31日 受講者8名 ・<u>新看護補助者の活用推進のための管理者研修</u> 「急性期看護補助体制加算・看護補助者加算」対応研修①②③④⑤⑥ ①令和4年5月20日 受講者120名、②5月26日 受講者115名、③6月22日 受講者138名、④7月13日 受講者141名、⑤12月14日 受講者47名、⑥12月21日 受講者35名 ・看護職員認知症対応力向上研修①② ①令和4年6月7日・8日・9日 受講者99名 ②令和5年1月25日・26日・27日 受講者71名 ・認知症高齢者の看護実践に必要な知識①②③ ①令和4年8月24日・25日 受講者50名 ②令和4年11月9日・10日 受講者57名 ③令和5年2月1日・2日 受講者95名 ・糖尿病重症化予防（フットケア）研修 令和4年7月21日・24日・25日 受講者49名 ・JNA 主催：医療安全管理者養成研修（演習）①② 令和4年9月15日 受講者75名 令和4年12月8日 受講者73名 ・<u>新准看護師のための看護実践力スキルアップー急変対応と感染予防策ー</u> 令和4年8月30日 受講者25名 研修会・講演会 6研修 ・第1回 令和4年8月4日 参加者189名 講演：日本看護協会常任理事 井本寛子 氏 「看護の専門性の発揮に資するタスク・シフト/シェア」 ・第2回 令和5年3月2日 参加者100名 講演：一般社団法人看護職の採用と定着を考える会
--	---

⑦看護実践研究会 ⑧感染管理認定看護師交流会 (2) 助産師を対象とした継続教育 (3) 保健師を対象とした継続教育 (4) 看護管理者を対象にした継続教育 (5) 資格認定教育	代表理事 早田真二 氏 「看護師確保を紹介業者に頼らずに済む兵庫県を目指して」 ・看護実践研究会 令和4年11月23日 参加者113名 発表演題17題 メインテーマ：「身近な疑問を解決しよう」 教育講演 講師：昭和大学保健医療学部看護学科 教授 富田真佐子 氏 ・<u>新感染管理認定看護師交流会</u> 令和5年3月3日 参加者42名 9研修 延べ日数9日 延べ受講者114名 ・新人助産師研修 4研修 ・<u>新骨盤ケア</u> 令和4年11月24日 受講者13名 ・<u>新産褥ケアに活かす育児とメンタルヘルスケアの基礎知識</u> 令和4年12月16日 受講者16名 ・<u>新チームで乗り切ろう!! 分娩期の怖～い場面!</u> 令和4年11月12日 受講者6名 ・現場で取り組む母乳育児支援 令和4年8月8日 受講者8名 ・周産期の感染予防対策 ― COVID-19を中心に― 令和4年6月17日 受講者15名 2研修 延べ日数2日 受講者16名 ・保健師バンク登録者研修 令和5年2月21日 受講者7名 ・保健師技術研修 令和4年6月10日 受講者9名 5研修 延べ日数9日 受講者246名 ・<u>新看護管理者のための COVID-19に関連したメンタルヘルスケア (COVID-19シリーズ研修)</u> 令和4年7月24日 受講者12名 ・看護補助者の活用推進のための管理者研修①②③④⑤⑥ (再掲) ・在宅療養支援における外来看護管理者の役割 令和5年1月28日 受講者22名 ・人材育成のためのクリニカルラダーの活用方法 ―スタッフのキャリア支援につなげる― 令和4年10月27日 受講者44名 ・主任のための役割講座・看護師長のための役割講座 令和4年6月29日・30日 受講者125名 令和4年7月20日・27日 受講者43名 ・認定看護管理者教育課程 (再掲) ・認知症看護認定看護師教育課程 (B課程) (再掲) ・看護管理実践発表会 (再掲) ・論文の書き方①②③ ①令和4年5月7日 受講者77名 ②令和4年8月9日 受講者21名 ③令和5年1月7日 受講者48名
---	---

	ファーストレベル公開講座 3 研修 延受講者20名 セカンドレベル公開講座 3 研修 延受講者10名 サードレベル公開講座 4 研修 延受講者20名
3) 看護研究等学術振興に関する事業 (1) 令和3年度看護実践研究会の実施・評価 (再掲) (2) 日本看護協会主催の学会参加促進	・看護実践研究会 令和4年11月23日(再掲)
4) 図書室運営に関する事業 (1) 図書・雑誌・文献の充実 (2) 図書室の効果的・効率的運営 (3) 文献学習等の支援	・新規購入図書、雑誌の検討 ・新刊案内、Library News の発行 4 回/年 ・図書室の利用者増加に向けた取り組み ・利用者ニーズ把握のためのアンケート調査実施 令和5年7月以降分析 ・利用状況調査 年間利用者数1,401名 ・研修ごとに文献学習の支援を実施

2. 看護に係る調査及び研究並びに看護業務及び看護制度の改善への提言に関する事項

〈重点2〉 定款第4条第1項第2号

現場で働く保健師、助産師、看護師及び准看護師が、自らその課題を把握し改善するため、それぞれの専門にかかわる業務の実態調査・研究等を行い、各職能における業務改善や看護制度改善に向けた提言をすることにより、看護の質向上を図る。

事業内容	実施状況
1) 保健師業務に関する事業 (1) 保健師の資質向上、専門性の追求 (2) 看護職、多職種とのネットワークの強化	・定例会 年11回 ・交流会 若手保健師交流研修会 令和4年11月19日 「語り合おう！日々の悩みや喜び」 ・母子のための地域包括ケアシステム推進について ・保健師・助産師合同会議への参画 ・調査等 日本看護協会が実施する実態調査 コロナ禍の保健師活動実態把握
2) 助産師業務に関する事業 (1) 子育て世代包括ケアシステムの推進 (2) 助産師間、他職種との連携強化	・定例会 年11回 ・研修会 近畿地区助産師職能合同研修会 助産師資質向上研修 ・調査等 子育て世代包括ケアシステム推進に向けた 産後ケア事業に関する学会発表 ・母子のための地域包括ケアシステム推進について ・保健師・助産師合同会議への参画

3) 看護師業務に関する事業

【看護師業務Ⅰ】

- (1) 看護管理者のネットワーク構築
- (2) 地域包括ケアの現状整理・可視化

- ・定例会 年11回
- ・交流会 看護師職能ⅠⅡ・支部合同交流会
「看護管理者として訪問看護研修をどう活かすか」
- ・調査等 看護管理者実施研修の成果整理
医療機関における COVID-19対策における課題とその解決策を検討

【看護師業務Ⅱ】

- (1) コロナ禍における高齢者施設等における感染対策の課題把握とその対策の検討
- (2) 地域で働く看護職の連携と協働の推進を図る

- ・定例会 年11回
- ・交流会 看護師職能ⅠⅡ・支部合同交流会
地域で働く看護職の交流会
- ・調査等 地域で働く看護師の感染症対策の現状把握、今後の対策検討
看能Ⅱ領域看護師の入会促進
日本看護協会が実施する実態調査

※三職能合同

- (1) 保健師助産師看護師職能集会
三職能合同集会
- (2) 保健師助産師看護師・支部合同交流会

- ・令和4年6月16日
「コロナ禍における支援者のメンタルヘルス」
兵庫県こころのケアセンター
センター長 加藤 寛 氏
- ・令和4年10月15日
テーマ：性の多様性と看護について一緒に考えよう
「医療スタッフが知っておきたいLGBTQ/SOGIの基礎知識」
岡山大学学術研究院保健学域教授 中塚幹也 氏
「性の多様性と看護」
大手前大学国際看護学部教授 藤井ひろみ 氏
- ※各支部の報告参照

※支部活動

4) 看護制度に関する事業

- (1) 兵庫県看護学校協議会への出席と情報交換
- (2) 看護業務、看護制度に関する意見・提言収集、調査の実施
 - ①令和3年度看護職員需要・離職調査の実施と分析
 - ②各支部から意見・提言の集約
 - ③各委員会活動から意見・提言の集約
 - ④看護師職能ⅠⅡ・支部合同交流会、保健師助産師看護師支部交流会、准看護師交流会からの課題収集、政策提言
- (3) 看護業務、看護制度に関する国・兵庫県・神戸市・日本看護協会等への政策提言

- 年6回
- ・令和4年12月10日 合同委員会
- ・令和4年12月10日 合同委員会
- ・令和4年12月10日 理事会報告
- ・令和4年7月 国・兵庫県・神戸市要望書提出
- ・令和4年9月 政策要望に係る県会議員、神戸市議会議員との意見交換会
- ・令和4年10月 神戸市予算編成に係る意見交換会
- ・令和4年12月 兵庫県知事 予算編成重点要望

(4) 准看護師養成・准看護師制度に関する取組 5) 医療安全の推進に関する事業 (1) 医療事故調査制度における支援団体としての事業 ①相談への対応 ②院内調査に必要な専門家の派遣と調査員の人材育成 ③兵庫県医療事故調査支援委員会との連携 (2) 医療安全研修の実施（支部研修は除く） (3) 神戸市医療安全推進協議会への出席	・令和5年3月 兵庫県予算要望回答・意見交換会 神戸市予算要望回答・意見交換会 ・准看護師研修会（再掲） ・准看護師の現状把握、進学に関する情報提供 ・医療事故調査支援委員会への出席 ・医療安全管理者養成研修（再掲） ・医療対話推進者養成研修（再掲） ・医療安全における看護記録（再掲）
---	---

3. 看護職の労働環境等の改善及び就業促進による人々の健康及び福祉の増進に関する事業 〈重点1〉〈重点4〉 **定款第4条第1項第3号**

患者や利用者が安心して療養生活を送ることができるよう、全ての看護職が安心して働き続けられる労働環境を整備し、確保・定着促進を図ることで看護職不足を解消し、地域の医療資源の充実を図ることにより、人々の健康及び福祉の増進を図る。

事業内容	実施状況
1) 働きやすい職場環境づくりに関する事業 〈重点4〉 (1) ヘルシーワークプレイスの推進 ①ヘルシーワークプレイス推進のための企画・運営 ②関連機関との連携の強化	・勤務環境改善取組3施設への支援 ・ヘルシーワークプレイスを推進する上での課題の明確化および支援策の検討 ・研修会の実施 ヘルシーワークプレイス推進研修 テーマ 「ヘルシーワークプレイスの実践知を共有しよう！」 開催日 令和5年2月24日 受講者 64名（オンライン57名・会場7名） 内 容 第1部 ワーク・ライフ・バランスチャレンジ報告 神戸徳洲会病院・東宝塚さとう病院 土井リハビリテーション病院 第2部 講演 「心理的安全性を高める組織づくり」 講師 元神奈川県立がんセンター 副院長 伊藤清子 氏 兵庫県医療勤務環境改善支援センター・行政、ひょうご仕事と生活センター職員との勤務環境改善に関する

2) 看護職の確保定着の促進に関する事業 〈重点1〉 (1) 看護職の確保の促進に関する事業 ①求職者および求人側への無料就業斡旋 (マッチング業務) ②地域における看護職確保の推進	意見交換、情報共有 ワーク・ライフ・バランス推進取り組み施設訪問（医療労務管理アドバイザー同行） ・NCCSによる求人・求職情報の登録・管理・支援 令和4年度新規登録者数 719名 ・プラチナナースの登録推進 施設訪問および60歳以上歓迎施設一覧表の配布 ・プラチナナース研修 - 研修① 令和4年6月14日 テーマ：兵庫県の保健医療福祉の動向 講師：兵庫県保健医療部医務課課長 波多野武志 氏 受講者数：15名（会場15名） - 研修② 令和4年9月21日 テーマ：40代から考える年金の話 講師：社会保険労務士 小島幹也 氏 受講者数：29名 （会場10名、オンライン19名） - 研修③ 令和4年10月17日 テーマ：労働法と多様な働き方 講師：兵庫働き方改革推進支援センター 和田朋子 氏 受講者数：18名 （会場8名、オンライン10名） - 研修④ 令和4年12月12日 テーマ：プラチナナースの活躍事例 講師：有馬温泉病院 看護部長 西山みどり 氏 受講者数：17名 （会場10名、オンライン7名） ・プラチナナース交流会 開催日：令和5年3月14日 テーマ：「ずっとずっと大好きな看護を続けよう ～積み重ねてきたキャリアを活かそう～」 参加者数：3名 内容：講義 ①プラチナナースの雇用状況について 講師 太期美恵子 ②働くプラチナナースの思い 講師 清田峰子 氏 ・施設訪問 ・新看護職確保推進事業参画準備 ・次年度実施予定の「地域に必要な看護職確保推進事業」準備委員会2回実施
---	---

③相談機能の充実に関する事業 ④ナースセンター(支所及びサテライト含む)広報 ⑤ホームページを用いた広報の継続 ⑥ハローワークとの連携強化 ⑦行政や他団体と連携した確保定着対策の強化 (2) 届出制度の周知及び届出者への支援 (3) 訪問看護 eラーニング活用による訪問看護師の確保・定着	・本所・支所・サテライトの相談体制の充実 看護なんでも相談 延 4,140件 メンタルヘルス相談 延 33件 認知症・高齢者専門相談 延 176件 ・「県民だよりひょうご」等行政広報紙による広報強化 ・駅構内看板広告(2か所) ・ホームページの適宜更新 ・SNSの周知とフォロワー獲得 ・看護相談員による出張相談 総数 232件 ハローワーク神戸:(月2回) 50件 ハローワーク姫路:(1回/2月) 17件 ハローワーク西宮:(月1回) 48件 ハローワーク加古川:(月1回) 29件 ハローワーク伊丹:(月1回) 27件 ハローワーク尼崎:(1回/2月) 8件 ハローワーク明石:(月1回) 26件 ・<u>新</u>ハローワーク 灘:(月1回) 27件 行政及び労働局、他団体との検討会、委員会への参加 ・とどけるん届け出状況(新規)614件(前年度705件) ・制度の普及・啓発(車内広告の掲載) ・研修やイベント・就業の案内(毎月メール配信) ・訪問看護 eラーニング養成講習及び訪問看護ステーション実習の実施、調整 開講式:令和4年5月21日 受講者67名 修了者:64名
3) 看護師等の需要・就業動向の実態把握に関する事業〈重点1〉 (1) 令和3年度看護職員需要・離職調査の実施 4) 看護職の就業の促進に関する事業〈重点1〉 (1) 看護職復職支援研修の実施 (2) 施設で実施する復職支援研修の支援 (3) <u>新</u>新型コロナウイルス感染症対応看護職員等の人材確保	・<u>新</u>調査のオンラインシステムの導入 ・<u>新</u>看護職員確保定着・離職防止委員会(ワーキング)での調査分析 ・<u>新</u>関連委員会との調査結果に関する意見交換 ・講義:2回 ・施設等見学ツアー:1日 参加者数 延べ72名 ・協会ホームページ掲載による広報 ・研修企画支援 ・<u>新</u>潜在看護職研修事業 コロナ対応力スキルアップ研修 3日×3回 2日×3回 計172名参加 ・<u>新</u>看護職員離職防止相談事業 ・新型コロナウイルス感染症に関する業務に就業する看護職か

(4) 本所合同就職説明会 就職に関する相談、訪問看護師になる為の相談コーナー等の設置 (5) 支部合同就職説明会開催の支援 (6) 看護基礎技術研修およびBLS研修の開催 (7) 看護基礎技術研修(採血)、静脈注射研修 ・姫路支所、サテライト北播 3の関連事業 (1) 看護職員離職防止対策研修の実施 看護職員離職防止のための看護管理者研修 (2) 関連団体主催の就職説明会への参加 (3) 関連会議への出席	らの離職に関する相談対応 12件 (再計上) 毎木 (12:00～16:00) 臨床心理士が対応 月～水、金 (12:00～16:00) 相談員が対応 ・ 新求人施設機能別就職説明会 令和4年6月18日：介護老人保健・福祉施設 参加者8名 令和4年6月19日：中小病院 参加者12名 令和4年7月14日：診療所・クリニック 参加者6名 令和4年7月23日：訪問看護ステーション 参加者12名 ・ 地域における合同就職説明会開催：3支部 阪神南圏域合同就職説明会 令和5年3月4日 参加数27施設/求職者計95名 北播磨圏域合同就職説明会 令和5年3月11日 参加数18施設 / 求職者62名 西播合同就職説明会 令和5年1月15日 参加数26施設/求職者76名 ・ 看護基礎技術研修 12回 参加者84名 ・ BLS研修 12回 参加者69名 ・ 姫路支所 40回 参加者89名 ・ サテライト北播 48回 参加者30名
--	---

4. 地域ケアサービスの実施及び促進に関する事業 〈重点3〉

定款第4条第1項第4号

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことが出来るよう訪問看護や居宅介護支援事業等を実施するとともに、まちの保健室事業等様々な場で健康相談に応じることにより、県民自ら取り組む健康づくりを支援する。

事業内容	実施状況
1) 地域看護活動の開発と推進に関する事業〈重点3〉 (1) まちの保健室事業の推進 ①拠点、出前相談、講座等の活動の強化 ②県民のライフサポーターとしての「まちの保健室」拠点の拡充 ③理学療法士会・栄養士会・歯科衛生士会・薬剤師会等関係団体・他職種との協働の強化	活動拠点111か所 開催件数109件 出前隊73件 図書館や教会の新規拠点開設

④看護ボランティアの確保と質向上 (2) 神戸市委託事業 ①サポーター研修（公開講座）開催 ②シニア健康相談ダイヤル事業 ③地域拠点型一般介護予防事業における介護 予防講座支援事業 (3) 認知症・高齢者に関する電話相談の継続 (4) 地域包括ケアシステムの推進 (5) チーム医療推進に関する事業〈重点3〉 ①多職種参加型支部共同研修の実施 ②先駆的な地域連携推進事例報告 ③看看連携研修の実施 ④特定行為に係る看護師の研修制度の推進 (6) 看護提供体制の推進〈重点3〉 ①保健師助産師看護師支部交流会の実施 ②地域別看護職員ネットワークづくり事業 ③地域包括ケアにおける看護提供体制の構築 ～ JNA の取り組み～	・ まちの保健室委員会主催 「まちの保健室体験」開催および実施状況の撮影 上記動画を支部へ配布（未経験の看護ボランティアの活動支援） ・ ボランティア獲得に向け訪問看護師、潜在看護職・ プラチナナース・個人会員等へ広報1回 ・ ボランティア対象研修会 参加者24名 「相談員のメンタルヘルス ～より良い相談活動につなげるために～」 講師：津村 薫 氏 ・ 健康サポーター研修 参加者18名 「神戸市福祉局：介護予防の取り組み」 講師：丸岡友美 氏 「認知症者へのかかわり方と認知症の予防」 講師：西田珠貴 相談延べ件数2,091件 ・ 介護予防講座：延べ件数60件 参加者627名 ・ <u>新認知症地域支えあい推進事業（10月～）</u> 講義：19件 参加者 342名 週2回 延べ件数 160件 地域の現状に応じて支部での企画実施 ・ 「看護ひょうご」連載 ・ 病院、訪問看護ステーション、看護小規模多機能型 居宅介護事業所等の看看連携研修の継続 特定行為に係る研修修了者の実践報告（再掲） ・ 施設代表者等研修会 年2回 令和4年8月4日 参加者 151名 令和5年3月2日 参加者 100名
2) 訪問看護ステーションに関する事業 〈重点3〉 (1) 協会立訪問看護ステーションの運営 ①尼崎訪問看護ステーション ・ 訪問看護・居宅支援・訪問介護一体運営 によるサービスの充実 ・ 機能強化型訪問看護ステーションとしての 役割の推進 ・ 教育ステーションとしての活動	・ まちの保健室活動 年2回実施 ・ 他事業所や関係機関が主催する研修等への講師派遣 年10回派遣 ・ 地域小規模ステーション看護師・管理者の育成 年4回研修及びOJT訪問実施

・実習及び体験実習の受け入れ強化 ・尼崎市認知症集中支援チームとして活動 ②神戸訪問看護ステーション ・訪問看護・居宅支援・訪問介護一体運営によるサービスの充実 ・実習及び体験実習の受け入れ強化 ③出石訪問看護ステーション ・訪問看護サービスの充実 ・実習及び体験実習の受け入れ強化	・実習受け入れ：看看連携研修生、看護学生・医大生等 ・体験実習 合計47名 ・認定看護管理者セカンド研修生 合計2名 ・医療機関からの実習 合計4名 ・認知症集中支援事業の役割遂行 ・他事業所や関係機関が主催する研修等への講師派遣 年4回派遣 ・実習受け入れ：看護学生・医大生、大学院生等 ・体験実習 合計27名 ・実習受け入れ：看看連携研修生、看護学生等 ・体験実習 合計9名
3) 在宅ケアサービスの推進に関する事業 〈重点3〉 (1) 訪問看護総合支援センター ①普及啓発 ②訪問看護事業所の実態調査 ③訪問看護師確保・定着促進 ・新卒看護職者支援 ・訪問看護普及・啓発 ④研修事業 ・訪問看護管理者研修、実務者研修、訪問看護導入研修、機能強化型訪問看護ステーション普及セミナー ⑤相談（開設・経営・労務管理等） ⑥ネットワークを活用/構築による支援センター事業の充実 (2) 訪問看護 e-ラーニング受講者への支援 (3) 兵庫県訪問看護ステーション連絡協議会との連携	・訪問看護総合支援センターの LINE 公式アカウント開設月2回情報発信、登録者数401名 ・看護職確保状況調査の分析 結果から抽出された課題（訪問看護の実際とイメージの乖離等） ・他施設間における訪問看護師交流会 年2回 参加者24名 ・ナースセンターの就業相談者や合同就職説明会（3回）の参加者に対して訪問看護の紹介、相談対応 ・新卒訪問看護師育成プログラムの改訂 ・管理者研修 全7回 参加者 29～51名/回 ・導入研修 2回 参加者 72名/合計 ・看看連携研修 病院参加者90名 訪問看護事業所参加者10名 職能I委員会との連携（看護管理者の研修参加） ・小児訪問看護研修 1回 参加者 20名 ・看護管理者交流会 1回 参加者 28名 ・訪問看護に関する相談 相談件数：191件 内容：制度、開設運営の基本的事項が多い。 ・訪問看護推進会議 年2回 ・連絡協議会との連携合同会議開催（6回/年） ・連絡協議会の理事会への参加 ・看多機普及推進研修 1回 参加者 29名 - 訪問看護の実際についての情報提供 - 連絡協議会との連携合同会議開催（6回/年）

①兵庫県訪問看護ステーション連絡協議会事務局を担当 (4) 介護職員等の医療的ケア指導者研修の実施 (重点2) (5) 訪問看護師・訪問介護員の安全確保・離職防止対策	総会、会議等の開催準備 ・介護職員等によるたんの吸引等研修事業指導者講習会(再掲) ・介護職員によるたん吸引等研修事業指導者講習会フォローアップ研修(再掲) ・訪問看護師、訪問介護員等への暴力等対策事業 新 弁護士による相談の活用 ・暴力等の電話相談23件 弁護士への報告・相談10件 ・会議：年3回 ・暴力対応力向上研修：年2回 参加者456名 同上 オンデマンド配信 視聴数194回
--	---

5. 災害・健康危機支援に関する事業 (重点5) 定款第4条第1項第5号

災害や健康危機発生時の看護活動支援に備え、平時から県・市町や日本看護協会、関係団体とのネットワークや連携を図り、体制の整備と受援・支援活動を行うことにより、県民の命と健康を守る。

事業内容	実施状況
1) 災害時看護に関する事業 (重点5) (1) 災害・健康危機管理体制基盤の構築 ①健康危機対策委員会の開催 ②兵庫県看護協会健康危機体制の整備 ・災害に係る物品の備蓄と整備 ・本会内災害防災訓練の実施 ③支部での体制整備の推進 ・支部における健康危機対策の強化 ・支部における連携構築の推進 ④施設での体制整備の推進 ・事業継続計画(BCP)マニュアルの検討支援 ⑤新型インフルエンザ等感染症対策	年6回 ・地域における連携支援体制の構築、有事に備え体制強化 ・災害時受援体制に関するアンケート調査 ・災害支援ナース登録推進・育成研修 ・地域防災訓練への参加 ・住民への減災教育、防災力強化 ・新型コロナウイルス等感染症研修会 令和4年10月25日 参加者51名 「兵庫県における新型コロナ感染症の対応について」 兵庫県保健医療部次長 田所昌也 氏 ・本会内 地震時災害対応机上訓練 令和5年2月10日 ・BCP/災害時行動マニュアル、ポケットマニュアルの作成 災害・健康危機ネットワーク強化 ・高齢者施設感染対策(BCP)研修 令和5年3月1日 「施設におけるBCP作成の基本事項」 参加者68名 姫路赤十字病院 感染管理認定看護師 八瀬和佳恵 氏 新型インフルエンザ等感染症対応研修(再掲)

(体制整備、人材育成等) (2) 災害看護研修、災害支援ナース育成研修等 (3) 災害支援ナース活動支援 (4) 地域における防災訓練・連携会議への参加 (5) まちの保健室等での地域住民への防災・減災教育の推進 (6) 保健師バンク機能強化	・災害支援ナースの指導的役割が果たせる人材の育成と訓練等を通じた実践能力の向上 ・災害支援ナース養成研修（基礎編）4回 参加者119名 ・災害支援ナース養成研修（実践編）2回 参加者85名 ・JMAT 実践研修への派遣9名 ・地域における減災教育教材の活用 ・防災訓練への派遣 ・関係各団体等へ災害支援ナースの広報による災害支援ナースの活動拡大 ・災害支援ナース登録者数 132施設 362名 (令和5年2月現在) 更新手続き中あり ・災害支援ナース研修交流会2回 86名 令和4年9月14日 参加者43名 「J-speed の実際」 県立淡路医療センター 小平 博 氏 令和4年12月15日 参加者104名 「COVID-19下における避難所運営訓練」 宝塚市立病院 救急科主任部長 桑原正篤 氏 救急医療センター副師長 中田徹朗 氏 防災・減災教育グッズの作成（パネル、チラシ等） ・保健師バンクおよび IHEAT 登録・管理 277名 ・保健師バンク研修・交流会（1回/年）（再掲） 令和5年2月2日 参加者7名 「兵庫県における新型コロナの動向と対策の実際」 兵庫県保健医療部感染症対策室 米田和代 氏 「IHEAT の概要と活用方法について」 兵庫県保健医療部健康増進課 中前日里 氏 ・兵庫県健康増進課との連携
2) 健康危機発生時への対応整備に関する事業〈重点5〉 (1) 日本看護協会との連携 (2) 近畿地区看護協会災害支援活動の推進 (3) 兵庫県防災協定による活動	・災害看護担当者会議への出席 令和5年3月29日 ・災害支援ナース派遣調整合同訓練 中止 ・近畿地区看護協会災害看護担当者会 令和5年2月27日 オンライン ・兵庫県防災会議への出席および役割遂行 ・合同防災訓練に係る会議への出席 ・兵庫県播磨地域合同防災訓練 令和4年9月4日 参加者9名

	・ ぼうさい国体 令和4年10月23日・24日 参加者4名/日 ブース展示「兵庫県看護協会災害時の支援活動」 セッション「災害看護でまちづくり」での発表 「阪神淡路大震災後の復興まちづくりと看護」 ～兵庫県看護協会の取り組み～
(4) 市町等の防災訓練、防災会議への参加	・ 高知沖自衛隊艦艇医療支援訓練 令和5年2月14日～16日 参加者 災害支援ナース 3名 ・ 三木市総合防災訓練 令和4年9月25日 参加者2名 ・ 姫路市国民保護訓練 令和4年10月29日 参加者13名 ・ 垂水区防災訓練 令和5年1月15日 参加者1名
(5) ひょうご安全の日推進県民会議との連携	・ 地域での連携体制推進 支部からの出席 ・ ひょうご安全の日推進県民会議への出席 2回 ・ ひょうご安全の日1.17のつどいへの参画 応急救護訓練への参加 参加者16名 ・ 県民への防災減災の周知
(6) 新型インフルエンザ等に係る会議への出席	・ 兵庫県新型インフルエンザ等対策有識者会議への出席 ・ 神戸市新型インフルエンザ等対策行動計画有識者会議への出席 ・ 神戸市新型インフルエンザ対策協議会への出席
(7) 日本災害看護学会等学会との連携	組織委員会としての活動継続：第24回年次大会 令和4年9月3日・4日
(8) 兵庫県医師会との連携	・ JMAT の要請により災害支援ナースを派遣 0名 ・ JMAT 実務者研修への派遣 9名
3) 新型コロナウイルス感染症に関する事業	・ 社会福祉施設等の感染者発生時における初動体制構築のための感染管理認定看護師等の派遣 登録60名 派遣18名 ・ 高齢者施設感染対策支援リソースナース講師派遣 派遣20名 ・ 新型コロナウイルス感染症自宅療養者健康観察事業 健康観察者実人員 35,612名 延べ回数200,679回 (R3.12.20～R5.3.31) ・ 新型コロナウイルス対応看護職員等人材調整事業 ・ 高齢者施設、福祉施設等の感染対策電話相談 ・ 感染管理認定看護師等感染管理セミナー ・ 感染対策エキスパート養成研修 ・ 高齢者施設感染対策 (BCP) 研修 ・ 新型コロナウイルス感染症対応研修

6. 看護の国際交流に関する事業 定款第4条第1項第6号

海外の同職能団体等との交流や国際協力機構（JICA）、世界保健機関（WHO）神戸センターとの連携を図り、看護の国際交流を推進する。

事業内容	実施状況
1) 外国人看護師候補者受け入れに関する事業 (1) WHO 神戸センター協力員会委員および幹事として役割遂行	・ WHO 神戸センター協力委員会への出席
2) 他国看護学会等との連携に関する事業 (1) JICA 海外研修生の研修協力	・ バングラデシュ看護サービス人材プロジェクトへの協力

7. 看護の普及啓発に関する事業＜重点6＞ 定款第4条第1項第7号

「看護の日」記念事業や介護の日の関連事業（看護フェア）を通して、将来看護現場を支える若い世代を含め、広く県民に「看護のこころ」、「ケアのこころ」等看護に対する理解と関心を深め、県民の公衆衛生の向上を図る。

事業内容	実施状況
1) 看護教育制度の広報に関する事業 (1) 進学説明会の実施 (2) 進学希望者へのパンフレットの送付 (3) 就職フェアでの進学希望者への相談対応 (4) 高等学校進路指導担当者説明会の実施	・ 令和4年7月30日 16校 対象：中学・高校生、社会人 ・ 「看護師をめざすあなたへ」の作成、配布 ・ 高等学校等：5校 個人：44名へ送付 ・ 令和4年6月24日 8校 対象：中・高等学校進路指導担当者・小学校教員等
2) 看護のこころ普及に関する事業 (1) 看護の日週間事業イベントの開催 (2) ふれあい看護体験事業の実施 (3) 看護フェアの開催 (4) 看護の出前授業の強化 (5) 看護専門学校、看護系大学への出張講義 (6) ナースの訪問授業	令和4年5月14日 ～伝えよう看護の魅力 看護の力～ 年1回開催 実施：13施設 参加者数：274名 令和4年11月12日 「看護職であることの誇り ～コロナ禍を支えた看護職～」 北海道医療大学 名誉教授 石垣靖子 氏 小学校・中学校、高等学校への出前授業10校696名 9校 404名 19校（高等学校） 467名
関連事業 (1) 兵庫県看護大会	令和4年7月7日 兵庫県公館 特別講演：「わかりあえないことから」 ～いま求められる医療コミュニケーション～

	兵庫県公立大学法人芸術文化観光専門職大学 学長 平田オリザ 氏
--	------------------------------------

8. 施設の貸与に関する事業 **定款第4条第1項第8号**

本会の事業に支障のない範囲で、広く公益的事業を実施する団体等に施設を貸与することにより、地域社会への貢献を図る。

事業内容	実施状況
(1) 施設の貸与運営	ハーモニーホール、研修室等の貸与運営

9. その他本会の目的を達成するために必要な事業 **＜重点6＞ 定款第4条第1項第9号**

定時総会、理事会、支部活動や関係団体との連携等を通じて協会の円滑な運営を図り、会員にとってさらに魅力のある看護協会を目指し、事業活動の充実と組織の強化を図る。

事業内容	実施状況
1) 円滑な組織運営＜重点6＞ (1) 組織運営のための諸会議の開催 ①定時総会 ②理事会 (10回) ③業務執行理事会 (4回) ④職能委員会(保健師・助産師・看護師Ⅰ・Ⅱ) ⑤委員会 ⑥理事・委員会合同会議 ⑦施設代表者会	令和4年6月16日 兵庫県看護協会会館 ・令和4年5月21日 (PM JNA 代議員予備代議員会) ・令和4年6月16日 (PM 定時総会、AM 職能集会) ・令和4年7月2日 (PM 委員会理事会合同会議) ・令和4年8月4日 (PM 施設代表者会) ・令和4年10月1日 ・令和4年11月5日 (PM 看護連盟合同会議) ・令和4年12月10日 (PM 委員会理事会合同会議) ・令和5年1月21日 ・令和5年3月2日 (PM 施設代表者会) ・令和5年3月18日 ・令和4年7月2日 ・令和4年9月20日 ・令和4年11月15日 ・令和5年1月17日 4 職能委員会 令和4年6月16日 合同職能集会 13委員会 ・令和4年7月2日 ・令和4年12月10日 ・令和4年8月4日 テーマ：タスク・シフト/シェアのガイドライン 講演「看護の専門性の発揮に資するタスク・シフト/シェア」 日本看護協会 常任理事 井本寛子 氏 実践報告「看護師のケアマネジメント力を介護負担軽減と二次障害の予防に活かす」

⑧支部会員会 ⑨代議員・予備代議員会 (2) 支部との連携、支部間の連携強化 ①支部担当事務の配置と連携 ・支部会員会等関連会議への出席 ・支部運営マニュアルの適宜見直し ・電話等による支部活動支援 ②支部運営会議、支部会員会 ③助成金の交付 (3) 日本看護協会諸会議への出席 ①通常総会 ②理事会 ③地区別法人会員会 ④都道府県職能委員長会議 ⑤全国職能別集会 ⑥その他会議 (4) 関係団体との連携・協働 ①看護協会 日本看護協会、近畿2府4県看護協会、他 都道府県看護協会 ②兵庫県看護学校協議会 ③兵庫県助産師会 ④日本精神科看護協会兵庫県支部 ⑤日本看護連盟、兵庫県看護連盟 兵庫県看護連盟との役員合同会議 ⑥医療・福祉・介護関連団体 ・兵庫県医師会 ・兵庫県歯科医師会 ・兵庫県薬剤師会 ・兵庫県医療職団体協議会(放射線技師会、 臨床検査技師会、栄養士会、臨床工学技 士会、理学療法士会、歯科衛生士会、作 業療法士会、言語聴覚士会、薬剤師会、	特別養護老人ホーム六甲の館 大崎恵美 氏 ・令和5年3月2日 講演「看護師確保を紹介業者に頼らずに済む兵庫 県を目指して」 講師 看護職の採用と定着を考える会 代表理事 早田真二 氏 各支部年2回開催 令和4年5月28日 令和4年6月8日 千葉県幕張メッセ 年5回 令和4年10月17日・18日 京都府 ホテル日航プリンセス京都 令和4年6月9日 千葉県幕張メッセ 政策責任者会議、事務担当者会議、会員情報管理担 当者会議、教育担当者会議、認定看護師教育連絡会、看 護労働担当者会議、医療安全推進会議、准看護師制度 担当役員会議、日本看護学会運営会議、広報担当者会 議、災害担当者会議、訪問看護担当役員会議、ナース センター事業担当者会議 他 ・近畿府県看護協会人材育成担当者会議 ・近畿府県看護協会災害担当者会議 ・近畿府県看護協会人材確保・定着担当者会議 ・近畿地区看護協会事務局長会議 ・近畿府県看護協会立訪問看護ステーション会議 令和5年2月23日 医療職団体合同研修会 「タスク・シフト/シェア」 参加者83名 市立野洲病院 看護部長 小森久美子 氏 愛仁会明石医療センター 看護部長 吉田美香 氏
--	---

介護支援専門員協会)

- ・兵庫県訪問看護ステーション連絡協議会
- ・介護・福祉関係団体

⑦行政

- ・兵庫県、神戸市、西宮市、姫路市、尼崎市、明石市、市町、兵庫労働局、ハローワーク等
- ・関西広域連合 ほか

関西広域連合協議会

関西広域連合関西女性活躍フォーラム

2) 組織力の強化〈重点6〉

(1) 会員の確保・拡大

- ①施設訪問 未加入者への働きかけ
- ②看護系大学・看護専門学校への出前授業等による働きかけ
- ③看護系大学・看護専門学校の入学式・卒業式等への出席および祝電・メッセージ
- ④兵庫県看護協会の見学実習等の受け入れ

(2) 新入会員研修の実施

(3) セカンドキャリア支援

(4) 保健師バンク

- ・入会促進プロジェクトチームによる促進強化
- ・入退会状況分析評価を踏まえての取組み
- ・保健師・助産師入会促進
新人保健師交流会開催
保健師・助産師合同研修会の開催
- ・看護職入会促進強化
新人看護師入会 PR 新入会員研修
- ・社会福祉施設向け入会促進
- ・入会特典の充実
- ・神戸市看護大学 看護管理学実習
- ・神戸市看護大学大学院実習
- ・新入会員研修 参加者954名
- ・協会活動の紹介、新入会員向けガイダンス動画作成
- ・セカンドキャリアの活用促進
- ・登録推進と協会事業への参画
- ・総会、研修会、イベント等への参加への働きかけ
- ・交流会、研修会

3) 広報活動〈重点6〉

(1) 広報活動の充実に関する事業

- ①広報委員会による広報活動の推進

(2) 広報誌等による広報

(3) ホームページの効果的運営

- ・看護協会紹介動画作成 ホームページにアップ
- ・新メールインフォによる情報発信
- ・広報に関するアンケートの実施
- ・SNS による有益情報の発信
- ・「看護ひょうご」の発刊(年4回：新春・春・夏・秋)
座談会、会員投稿等の新規企画
表紙、デザイン等の変更
- ・広報誌「看護ひょうご」のホームページ掲載
- ・協会ガイドの作成
- ・県民向け広報誌「ささえ」の活用
- ・「看護師をめざすあなたへ」配布拡大
- ・新型コロナウイルス活動の記録発行
- ・理事会議事録(要約)の掲載
- ・看護関連情報および協会の事業活動の更新
- ・ホームページ上の各支部ページの充実
- ・ホームページの活用に関する評価

(4) マスコミを通じた広報活動 (5) 社会貢献活動の広報 (6) 「看護の日・看護週間」事業による看護の心の普及促進 (7) 会員募集（新入会・継続入会）に関する広報	・取材依頼への積極的対応 ・協会事業のマスコミへのPR活動 ・関連イベントへの協力 ・看護の日・看護週間イベントの広報活動 ・看護の出前事業の広報活動 ・ナースシップに関する広報の強化 ・「看護ひょうご」に入会のご案内を掲載 ・入会促進プロジェクトチームによる促進強化(再掲)
4) 会員の表彰・福利厚生等 (1) 叙勲・表彰等候補者の推薦 (2) 兵庫県看護協会会長表彰等の実施 (3) 慶弔見舞、災害見舞 (4) 看護職賠償責任保険制度加入の推進 (5) 協会・支部出務に係る保険運用 (6) 職員研修	・叙勲・褒章 ・日本看護協会会長表彰 ・兵庫県看護功績賞 ・名誉会員 ・兵庫県看護協会会長表彰 ・兵庫県看護協会会長感謝状 ・まちの保健室ボランティア表彰 等 ・弔慰見舞 8件 ・災害見舞 0件 ・職員研修会 ・ハラスメント研修 ・メンタルヘルスチェックシート 実施 ・ハラスメント“目安箱”設置
5) 設備整備・改修	・研修室・会議室へのプロジェクター新設更新 ・パソコンコーナーリニューアル ・オンライン受講者用ブースの設置 ・ハーモニーホール映像・音響設備整備 ・シミュレーターの導入 ・パソコン環境の充実（支部含む）